Team Le Mans 2019年 SUPER GTシリーズ Round.2 富士スピードウェイ レースレポート #6 LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S WAKO'S 4CR LC500 Kazuya OSHIMA Kenta YAMASHITA Owltech BRIDGESTONE TES







































大会概要

2019年 スーパーGT シリーズ 第2戦

大会名称

2 0 1 9 AUTOBACS SUPER GT Round 2 FUJI GT 500km RACE

開催日時

5月3日 金曜・祝日(予選) 5月4日 土曜・祝日(決勝)

開催サーキット

富士スピードウェイ(1周4.563km) 所在地:静岡県駿東郡小山町中日向694

同時開催レースカテゴリー

2019 FIA-F4選手権 第3戦&第4戦 ・ポルシェ カレラ カップ ジャパン 2019 第3戦&第4戦

主催

株式会社GTアソシエイション(GTA) / 富士スピードウェイ株式会社 / FISCOクラブ (FISCO-C)

公 認

国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)

認定

株式会社GTアソシエイション(GTA) / ポルシェ カレラ カップ ジャパン 委員会(PCCJ委員会)

後 援

経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/静岡県小山町/御殿場市/裾野市公益社団法人静岡県観光協会/小山町観光協会/一般社団法人御殿場市観光協会/一般社団法人裾野市観光協会 K-mix/テレビ静岡/FMヨコハマ







































◆#6 LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S 参戦体制

■ ドライバー



大嶋 和也
KAZUYA OSHIMA

生年月日 1987年4月30日

出身地 群馬県

身長 171cm

体重 61kg

血液型 RH+A





脇阪 寿一 JUICHI WAKISAKA

生年月日 1972年7月29日

出身地 奈良県

身長 177cm

体重 63kg

血液型 RH+AB



山下 健太 KENTA YAMASHITA

生年月日 1995年8月3日

出身地 千葉県

身長 175cm

体重 63kg

血液型 RH+AB

■スタッフ

チーフエンジニア 阿部 和也

チーフメカニック 寺尾 由貴

■スポンサー

株式会社和光ケミカル

株式会社前田シェルサービス

株式会社オウルテック

DMG森精機株式会社

株式会社三笠製作所

林テレンプ株式会社 株式会社タミヤ 株式会社二チネン

引田時計店

広島化成株式会社

エンパイヤ自動車株式会社

株式会社不二WPC

リンテック株式会社 株式会社アシックス トヨタカスタマイジング & ディベロップメント株式会社

トヨタ・ヤング・ドライバーズ・ プログラム

トヨタ自動車株式会社

株式会社ブリジストン







































Team Le Mans

◆予 選

天気晴れ

コース状況 ドライ

気温 22度(GT500クラスQ1開始時)

路面温度 36度 (GT500クラスQ1開始時)

予選開始 14時50分 (GT500クラスO1開始)





人気抜群のSUPER GTシリーズ、なかでも例年多くの観客が集まるのがゴールデンウイークの富士スピードウェイ戦である。 特に今季は開幕戦岡山が荒天により途中終了という消化不良なレース展開だったため、この第2戦にかかる期待は様々な意味で大きいといえよう。 LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S にとってもここにかける気持ちは強い。決勝13位という結果に甘んじた初戦の雪辱を果たしたいところだ。 開幕前の合同テストでは富士でも好感触を得ているだけに、ウエイトハンデもない今回、グッドリザルトを狙っていきたい。 好天に恵まれた予選日、2段階ノックアウト方式の予選には大嶋和也がQ1、山下健太がQ2を受け持つドライビングオーダーで臨む。

#6 WAKO'S 4CR LC500

予選結果: 9位(予選Q1ベストタイム: 1分28秒308/大嶋選手)

大嶋はQ1で「ほぼミスはなかった」ラップで1分28秒308というタイムを刻む。しかし順位は9位、Q2進出圏の8位とは0秒037の僅差ながら惜しくもそこには届かず、という結果になった。実はこの日はクルマの状況的に軟らかいタイヤへの適応があまり良くなく(脇阪監督コメント参照)、硬めのタイヤチョイスで予選アタックに臨む厳しい面を抱えていた。この結果にはやむを得ないところもあり、決勝での挽回に照準を切りかえてゆく。







































▶決 勝

天気 雨/曇り

コース状況 ウエット/ドライ

気温 19度 (スタート時)

路面温度 25度(スタート時)

決勝レース開始 14時30分

レース周回数 110周(約500km)





#6 WAKO'S 4CR LC500 (大嶋和也選手&山下健太選手)

決勝結果:8位 (所要時間:3時間40分56秒919=109周/ベストラップ:1分30秒572=大嶋選手)

今回は通常の300kmレースより200km長い500km戦。決勝レースではドライバー交代を伴うピットストップが2回以上義務付けられる。 #6 WAKO'S 4CR LC500は山下がスタートとゴールのスティントを担当し、大嶋が中間スティントを担うかたちで110周のレースを戦う。

決勝レース開始20分前頃から雨が落ちてきた。レースはセーフティカー(SC)先導でのスタートとなり、2周終了時に実質的な開戦を迎える。 9番手スタートの山下は序盤、ポジションを下げ気味な展開となるが、やがて10番手まで戻る。雨量が増し、レースは13周目にSC導入となって、 さらには15周終了の整列停止時に赤旗で中断に。しばらくしてレース再開、その後も山下は9~10番手で走行を続ける流れとなった。

次第に路面は乾いていき、最初のピットタイミングがレインタイヤからドライタイヤへの移行タイミングというかたちのレース展開になっていく。 そして路面の回復とともに#6 WAKO'S 4CR LC500はライバルに対し優勢な速さを発揮するようにもなる。42周目、山下がピットインして大嶋に交代。 しかしピット作業時に並行実施はできないタイヤ交換と給油を同時に行なったと判定される場面があり、のちにドライブスルーペナルティが科される。 タイヤ交換に手間取っている際に給油リグが入ってしまうミスだった。大嶋は9番手で好走していたのだが、これで1周遅れの11番手へと下がる。

84周終了時にピットインして山下に交代。好ペースをキープした山下はオーバーテイク等で3ポジションアップに成功、意地の8位入賞を果たした。







































大嶋和也選手のコメント

僕が走った第2スティントと山下の第3スティントは、トップにもひけを取らないペースで走れていました。いろいろとあって難しいレースにはなってしまいましたが、僕たちのクルマが変わらずに速いということは決勝であらためて分かりましたし、チームのみんなともう少し頑張って、全体のレベルをもっと上げていければと思います。まだシーズンは先も長いですからね。次戦以降も頑張っていきます。

山下健太選手のコメント

ウエット路面ではまわりのライバルに比べてちょっとスピードが不足していたように感じましたが、乾いてくるとフィーリングは良くなりましたね。 最後のスティントではタイム的にもかなり速かったですし、乗っていてもすごく乗りやすかったです。全部ドライで戦えたらかなり上までいけたと 思えましたし、今後につながる感触でした。次の鈴鹿戦ももちろん頑張りますし、その次のタイ大会あたりは大きなチャンスだろうと思っています。

阿部和也エンジニアのコメント

チームにピットストップのミスが出てしまいましたが、ドライバーがよく頑張って8位までもってきてくれました。最後もペースは速かったですし、 そういう意味では良かったと思えますが、同じレクサス、同じブリヂストンの38号車が優勝しているわけですからね。我々も勝たなくては、と思います。

脇阪寿一監督のコメント

ピットストップでミスが起きてペナルティを受けてしまいましたが、スタッフも反省していますし、これは今後の糧にしていきたいと思います。 開幕戦での苦戦を受けて、レクサス勢としては今回に向けて開発面で新しくトライをしてきたりしたのですが、我々のチームに関していうと予選日は それがもうひとつうまく機能せず、タイヤ選択等にも影響してしまうこととなりました。これは、この高いレベルで戦ううえではあり得ることです。

決勝日に元の状態に戻して進めたところ、速さは発揮できましたし、長いレースのなかでタイヤについても多くの確認ができたことは良かったですね。 やはりこれを糧にして頑張ります。開幕戦で苦しんだあと、TRDを中心にレクサス勢全体としての努力も実り38号車が優勝したことは嬉しく思います。

シリーズランキング

大嶋和也&山下健太10位/3ポイントチーム部門10位/8ポイント







































◆その他サーキット内イベント報告

◆観客動員数

開催期間中 延べ入場者数 約91,800人

5月3日 金曜・祝(予選日 天気: 晴れ) 35,800人 5月4日 土曜・祝(決勝日 天気: 雨/曇り) 56,000人

◆ピットウォーク

開催日程 5月3日 12:00~12:45

5月4日 10:05~10:55

◆キッズウォーク

開催日程 5月3日 17:10~18:10

主催 GTアソシエイション、富士スピードウェイ

参加者 大嶋和也、山下健太

ピットロード開放エリアにて握手&サイン会、撮影会、 グッズ提供等を行ない、今回も沢山のお客様を お迎えすることが出来ました。決勝レース開始前には グリッドウォークも実施されています。











































